令和７年２月１９日

お 知 ら せ

課所名	環境文化部 自然環境課
担当	自然保護班 今井、原田
内線	3115、3118
直通	(086)226-7309

特定外来生物ナガエツルノゲイトウの防除対策に取り組みます

倉敷市内の小田川河川敷において、特定外来生物ナガエツルノゲイトウが県内で初めて確認されました。国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所、環境省中国四国地方環境事務所、倉敷市と連携し、防除対策に取り組みますので、お知らせします。

１　対策実施場所

一級河川高梁川水系小田川河川敷
琴弾橋（倉敷市真備町妹）付近１地点　及び
箭田橋（同真備町箭田）～二万橋（同真備町下二万）付近８地点
（計）９地点、各１㎡～９㎡程度の生息範囲で実施

２　確認までの経緯

国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所が実施した調査結果等を受け、本年１月下旬、当該場所での生息を確認

３　対策の実施予定

２月～３月　現地踏査、生息状況を踏まえた防除方法の検討
４月～　新芽や花から確認個体の生息範囲を確定し次第、順次、駆除
４月～　確認地点及びその周辺（上下流各１km 程度）におけるモニタリング調査

【ナガエツルノゲイトウ／ヒユ科】

・南米原産の多年草である。
・水陸両生で、河川、水路の他、水田、畦畔などにも侵入して大群落となり、水面をマット状に覆うことで、水路を閉塞し、取水・排水の障害となる。
・茎はちぎれやすく、節や根から活発に再生、拡散し、河川や池で大量発生するケースもある。
・25 都府県（令和６年７月 31 日現在）で既に生息が確認されている。

（環境省提供）